

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 5 月 23 日 (2013.5.23)

【公表番号】特表 2011-528050 (P2011-528050A)

【公表日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-045

【出願番号】特願 2011-517851 (P2011-517851)

【国際特許分類】

C 0 8 F 6/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 6/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 25 年 4 月 2 日 (2013.4.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 少なくとも 1 のエチレン性不飽和の、酸基を有するモノマー、

b) 少なくとも 1 の架橋剤、

c) 少なくとも 1 の開始剤、

d) 場合により 1 もしくは複数の、a) に記載したモノマーと共重合可能なエチレン性不飽和モノマー、および

e) 場合により 1 もしくは複数の水溶性ポリマー

を含有するモノマー溶液またはモノマー懸濁液の重合により、吸水性ポリマー粒子を製造する方法であって、以下の工程：

i) モノマー溶液またはモノマー懸濁液を重合してポリマーゲルを得る工程、

i i) ポリマーゲルを乾燥させる工程、

i i i) 乾燥させたポリマーゲルを粉砕する工程、および

i v) 分級し、その際、篩下粒子を分離する工程

を有し、この場合、分離した篩下粒子は、少なくとも部分的に工程 i i) の前に返送される吸水性ポリマー粒子の製造方法において、吸水性ポリマー粒子を工程 i v) の前に、表面後架橋させ、返送される篩下粒子の少なくとも一部の量が、少なくとも 1 の還元剤により、または還元剤および無機粒子により被覆されており、還元剤が、次亜リン酸の塩またはスルフィン酸の塩であることを特徴とする、吸水性ポリマー粒子の製造方法。

【請求項 2】

工程 i i i) の後かつ表面後架橋の前に、さらに分級し、篩下粒子を分離することを特徴とする、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

表面後架橋の前に分離した篩下粒子を、工程 i v) で分離した篩下粒子と一緒に返送することを特徴とする、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

還元剤により、または還元剤および無機粒子により被覆されている、返送される篩下粒子のうち、モノマー溶液またはモノマー懸濁液の固体含有率に対して、1 ~ 20 質量%の量を、工程 i v) の前に被覆することを特徴とする、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の方法。

## 【請求項 5】

還元剤により、または還元剤および無機粒子により被覆されている、返送される篩下粒子のうち、モノマー溶液またはモノマー懸濁液の固体含有率に対して、1～20質量%の量を、表面後架橋の後に被覆することを特徴とする、請求項1から4までのいずれか1項記載の方法。

## 【請求項 6】

分離した篩下粒子を工程 i ) の後に返送することを特徴とする、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の方法。

## 【請求項 7】

還元剤により被覆される篩下粒子が、篩下粒子に対して 0.01～5 質量%の還元剤により被覆されていることを特徴とする、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の方法。

## 【請求項 8】

無機粒子により被覆される篩下粒子が、篩下粒子に対して 0.05～2 質量%の無機粒子により被覆されていることを特徴とする、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載の方法。

## 【請求項 9】

無機粒子が、熱分解法ケイ酸であるか、または燐酸の水不溶性の塩であることを特徴とする、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載の方法。

## 【請求項 10】

モノマー a ) が、部分的に中和されたアクリル酸であることを特徴とする、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項記載の方法。

## 【請求項 11】

吸水性ポリマー粒子が、少なくとも 15 g / g の遠心分離保持容量を有することを特徴とする、請求項 1 から 10 までのいずれか 1 項記載の方法。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0103

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0103】

30分の反応時間の後で、ポリマーゲルを取り出し、穿孔板（穿孔の直径6mm）を有する押出機で粉碎し、亜硫酸水素ナトリウムの1質量%水溶液17.6gを噴霧し、かつ2回押し出した。

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0109

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0109】

30分の反応時間の後で、ポリマーゲルを取り出し、穿孔板（穿孔の直径6mm）を有する押出機で粉碎し、亜硫酸水素ナトリウムの1質量%水溶液17.6gを噴霧し、かつ改めて押し出した。引き続き例1からの篩下粒子を合計で84g、2回に分けて180μmの篩およびスプーンを用いて振りかけ、かつ3回押し出した。